

## 第2回 大牟田市庁舎整備検討委員会（摘録）

時 間	場 所
平成30年7月2日（月）18:00～20:10	大牟田市役所 北別館4階 第2会議室
<b>出席者</b>	
<p>（出席委員）10名（以下のとおり） 糸永委員、上田委員、大森委員、川満委員、椎葉委員、田中委員、田上委員、中野委員、平林委員、古野委員（五十音順） （欠席委員）なし ※上記の他、事務局メンバー6名、支援業務委託者2名が参加した。</p>	
<b>概 要</b>	
<p>1. 開会</p>	
<p>2. 議事</p>	
<p>①大牟田市庁舎見学 …資料1の流れに基づき、現在の庁舎の状況を把握するため、正面玄関、各種窓口、議場、執務室等を中心に見学を行った。</p>	
<p>②飯塚市庁舎見学会（報告） …6/6 に実施した飯塚市新庁舎見学会を振り返り、新庁舎の機能について共有を行った。</p>	
<p>③歴史ある市庁舎の改修事例 …支援業務委託者（株醇まちづくり技術研究所）より資料2に基づき、名古屋市、京都市、鹿児島市の改修事例の紹介を行った。 （主な意見・質問） ○それぞれの改修事例において、庁舎の機能面での影響はなかったのか？ →耐震壁を設置した事例では、執務室の狭隘化などの影響がある。 ○「居ながら改修」を行ったとのことだが、大牟田市が免震改修を行う場合でも、居ながら改修ができるのか？ →免震改修は基本的には、「居ながら改修」が可能と言われている。 ○事例はどれも大牟田市と比較にならないほど大きな自治体である。人口12万人程度の同規模の自治体において、歴史ある庁舎の改修事例はないか？ →同規模の自治体における歴史ある庁舎の改修事例は少ないが、会津若松市は本市と同規模で、本庁舎の改修工事と別棟の新築工事を合わせて計画策定が進められている。</p>	

#### ④論点1：庁舎に求められる機能（案）

…事務局より、**資料3-1、3-2**の説明後、庁舎に求められる機能について協議した。  
(委員全員に発言を求める)

##### 【A委員】

○現庁舎は不便なところが気になる。効率的に市民サービスを提供できることが一番大事。トイレも古く、高齢者は使いづらい。庁舎見学をして、改めて機能面が重要であると感じた。

##### 【B委員】

○安心・安全が一番大事だ。大阪の地震もあったが、昼間に大きい地震があったら、どうなるか心配だ。庁舎は多くの市民が利用するため、耐震性能の向上が重要だ。

##### 【C委員】

○**資料3-1**に記載されている4つの機能はいずれも外せない絶対条件だと思う。  
○飯塚市新庁舎のような会議やイベント等といった多目的に利用できる場所が、できればあると良いと思う。

##### 【D委員】

○耐震性能の向上やバリアフリー等の物理的な要求のほかにも、社会的・文化的な役割を持つ必要があると考える。  
○これからは市民参加や市民協働の視点が重要であり、市も市民参加を謳っているため、これを推進するためのスペースは必要だと思う。  
○市役所は努力しなくても人が集まる場所である。その意味では、レストランやコンビニなど、人が集まるにふさわしい付加価値を付けられるといいと思う。

##### 【E委員】

○庁舎に求められる機能としては、資料に記載されている項目は異論を挟む余地はない。  
○インターネットの時代で情報のやり取りが便利になっている中、許認可や印鑑証明等のためだけに来庁しなくてもよくなってきている。今後はなるべく庁舎に来なくても用が足りるような仕組みをつくっていくべきである。  
○庁舎は「どうしても行かなくてはならない人」だけが来るという前提に立てば、建物の作り方が変わってくる。それも考えるべきである。

##### 【F委員】

○以前住んでいた市の庁舎では、手続きに時間を取られ、使いにくく、空調もよくないため、「行きたくない」イメージが強かった。  
○大牟田市は、地方都市の中でこれだけ立派な庁舎を持っているのはすごいことだと思う。  
○広域連携で他の地区と連携が進めば、大牟田市は中心的な役割を担うこととなるため、庁舎が立派であってもいいと思う。しかし、財政事情は深刻だと

思う。できるだけ、未来に大牟田市の隆盛を示し、建物に気概を残すことができると思う。

○名古屋市や京都市のような大都市は、駐車場がいないため改修できた要因のひとつだろう。大牟田市では、庁舎の機能を削り、他で分担させることで少し立派な建物にしても良いと思う。

○庁舎の機能を削るのはいくらでもできるが、象徴性やこれまで培ってきた文化を庁舎に反映させてもよいのではないか。

#### 【G委員】

○資料に記載されている内容は、どれもクリアしなければならない最低条件だと思う。庁舎内を見た限り、どれもクリアできている状況ではない。

○市民サービスの提供はもちろん大事だが、庁舎で働いている人が快適で効率的に仕事ができるスペースやレイアウトにしていくべきだと考える。それが、結果的に市民サービスの向上につながると考える。

○本日の庁舎見学でも感じたが、外から見れば非常に立派だが、中はボロボロという印象を受ける。

○行政の庁舎という建物に、文化的なことを求める必要があるのかは疑問。市民サービスを提供できてこそその庁舎だと思う。

#### 【H委員】

○資料に記載されているのは、どれも欠かせない機能であるが、先のことも考えて、庁舎のすばらしいモデルとなるよう効率的で一步進んだ機能の確保を検討すべきである。

○電子媒体が普及して、紙が不要になっている。庁舎内に紙の書類を大量に抱えている状況を改善するべきだ。

#### 【I委員】

○資料に記載されている4つの機能はどれも必要。とくに「分かりにくさ」の改善が必要だ。

○庁舎の中に例えばカフェ等の店舗を入れると人は集まるが、人口減少の中では、個人の負担が大きくなる。効率的か、効果的かを重要視して取り入れるものを検討するべきだと思う。

#### 【D委員】

○さきほどは文化という表現を使ったが、文化というよりも、市民参加に近い。公共施設では会議・打合せスペースが不足しており、市民参加を実現するためには、そのようなスペースが必要となると思う。

○行政サービスの提供は「市→市民」の1方向だが、「市⇄市民」の双方向のコミュニケーションができる機能も、市民参画を促す上では必要だと思う。

→市民アンケートや団体ヒアリング等では、公共的利用や避難場所としての機能等があった方がよいかについても聞いている。ご指摘の内容に関する希望も把握する予定である。

### 【E委員】

- 個人が家を建てる際は、手元にある資金でできることを考える。それではできなければ、借り入れを行う。この流れが普通のことだ。庁舎整備についても、もう少し具体的な数値の根拠がほしい。
- 借入を行う場合、返済に10年かかるのか、20年かかるのか、今の市民で返せるのか、将来の市民の負担が大きいのか、そういったところが漠然としている。人口が6~8万人になったときに、庁舎の整備に係るお金が予算の何%を占めるのか、そういう感覚をつかまなければ、結論は出しにくい。
  - 第1回会議の際に提示したシミュレーション結果報告書の中には、モデルケースごとの財源内訳も示しており、国の補助金や地方債（借金）のほかに自主財源（自治体の持出）が必要とされる。この自主財源に充当可能な庁舎等建設積立基金を現在、約18.9億円積み立てている。
- 資金の流れや将来負担について分かりやすく示していただきたい。
  - 次回委員会で資料を示したい。

### 【C委員】

- 4つのモデルケースは現在地と笹林公園のみしかない。その他の敷地も含めるのか、現在地と笹林公園に絞るかで議論の進め方が違ってくる。
  - 建設場所を現在地と笹林公園に限定するものではない。他の敷地を含めて、論点3でご協議いただきたい。

### ⑤その他

大森委員長より、附属機関設置条例に基づき、構造の専門家の本委員会への出席について提案された。（人選については、委員長と事務局に一任されることとなった。）

## 3. 閉会

以上